

提案型事業の審査結果について

川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



2-8 ① 実行委員会主催事業（提案型事業）

市制100周年を契機に、これまでの川崎の歴史を振り返りながら、川崎だからできる多様で多彩なアクションを模索し、「あたらしい川崎」を生み出していくために、実行委員会参画団体に加えて、市民、企業、団体等の方々から広く提案を募集して、そこで生まれる柔軟なアイデアや発想から、記念事業を盛り上げ、地域課題の解決、地域の魅力や価値の向上に向けた取組が創出されることを目指します。

●取組概要

<募集する提案の条件>

- ① 川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors,Future!Actions プラン」の基本理念、基本方針、取り組む視点と整合性のある提案事業であること。
- ② 令和6(2024)年度に共創事業を実施し、成果を報告できること。
- ③ 令和7(2025)年度以降も事業の継続実施が見込めること。

<負担金の考え方>

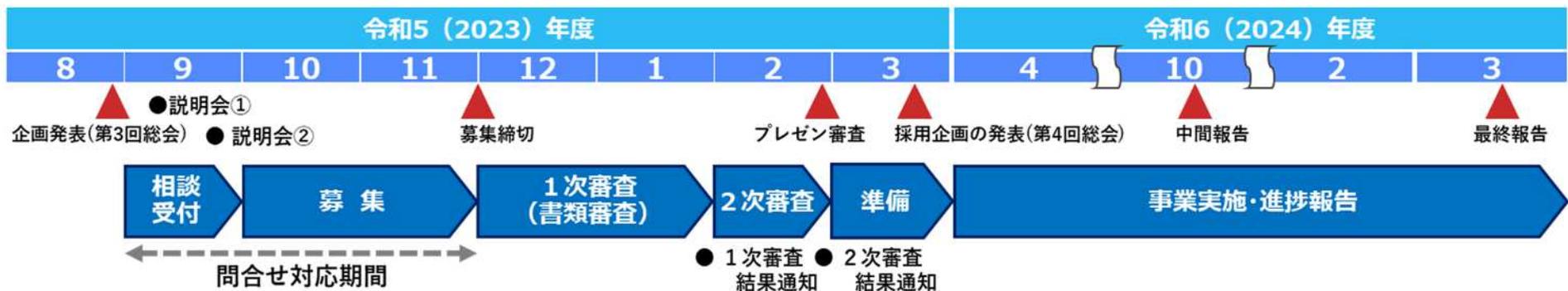
- 負担額 1事業あたり上限500万円（※下限は250万円）
- 採用事業数 4件程度を予定（※予算の範囲内で採用数を調整）
- 負担割合 直接的経費の1/2以内で実行委員会が負担

<募集するテーマ>

- 提案する企画内容は基本的に自由

令和5(2023)年度は、応募件数9件について、審査を行い、提案事業を選定します。
 令和6(2024)年度は、採用された事業について、定期的に実行委員会事務局への進捗報告を求めながら、提案事業者からの相談や必要な助言を行うなど伴走支援をしながら取組を進めます。

●実施スケジュール



第2次審査の概要



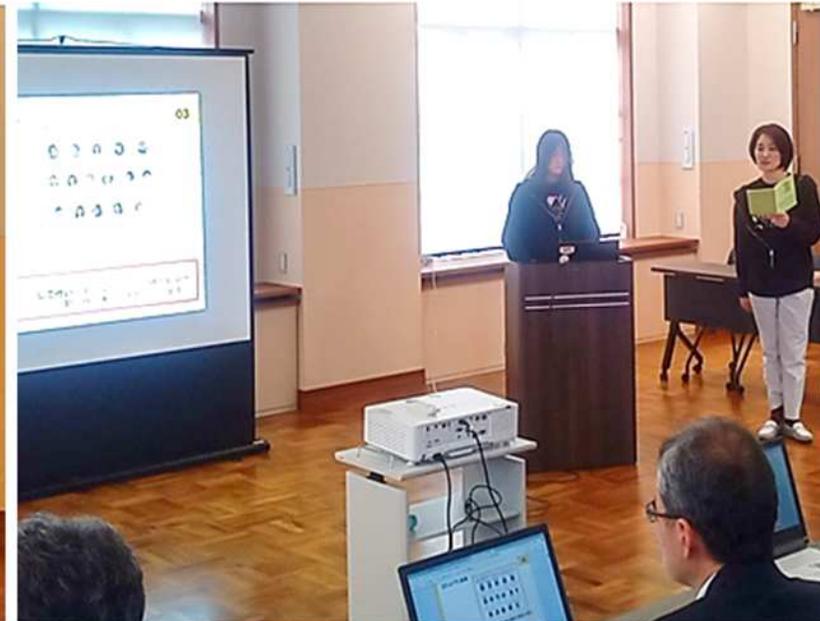
第2次審査では、提案者からのプレゼンテーションの内容を審査し、審査委員全員で講評を行った上で、最終的に採択する提案事業を決定した。

開催日時 令和6年3月1日（金）

会場 川崎市市役所本庁舎 会議室

審査方法 提案説明（プレゼンテーション15分）、質疑応答（15分）の内容を審査
審査要領に基づき、プレゼンテーションの内容について採点したもののうち最も合計点が高いものから順に選定。一定の基準に満たす提案がない場合は不採択。

審査委員 実行委員会事務局長、100周年幹事4名、専門家2名（中小企業診断士、弁護士）



審査の視点



評価項目と考え方

項目	考え方
100周年記念事業との関連性	<ul style="list-style-type: none">・ 100周年を記念する相応しい事業内容になっているか。・ 市民や地域にとってプラスをもたらすような効果的な提案がされているか。
課題の深堀度	<ul style="list-style-type: none">・ 社会課題を踏まえた提案内容となっているか。・ 課題の根本原因まで深堀できているか。・ 客観的データに基づいて課題を把握しているか。
共創性	<ul style="list-style-type: none">・ 実施主体に多様なステークホルダーで構成されており、それぞれの役割が明確かつ妥当であるか。・ 共創による相乗効果が期待されるか。
新規性 独自性	<ul style="list-style-type: none">・ アイデアや事業内容に新規性・独自性・競争優位性があるか。・ 類似の事例がすでに実施、普及されていないか。・ すでに実施されているものであっても、実施方法等がより明確かつ妥当性が高いなど、競争優位性が見込まれるか。
実現可能性 継続性	<ul style="list-style-type: none">・ 事業内容は、具体的なものとなっているか。・ 事業化スケジュールは、実現可能性の高いものとなっているか。・ 事業実施のための各種能力、経営基盤等を備えているか。・ 次年度以降も事業の継続実施が見込まれるか。
費用適切性 管理体制	<ul style="list-style-type: none">・ 実施体制は適切なものとなっているか。・ 事業規模に応じた適切かつ効率的な見積りとなっているか。・ 事業者間での費用管理、マネジメント体制が適切に構築されているか。

子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト -世界こども地域合衆国サミット-



構成員

学校法人調布学園／一般社団法人 デジタル田園都市国家構想応援団／NPO法人 ミニシティ・プラス
CHEERS株式会社／一般社団法人 SDGs Innovation HUB／一般社団法人 CePiCみんなの地球公園国際コミュニティー

内容

「子ども」が考える“新しいまちづくり”や“アイデア”の実現に向けて、大人、企業、団体と協働・共創し、「世界子ども地域合衆国サミット」と「共創こども会議」を開催

「世界子ども地域合衆国サミット」 (令和6年11月16、17日開催)

- 川崎市にゆかりがある企業・団体の仕事体験ができる
- SDGsを意識した世界で一番エコな「こどものまち」運営を目指す
- ドイツ、ウクライナ、全国の子どもの代表を集めた国際会議を開催
- 日本初の「子どもの権利に関する条例」が施行された川崎の事例を世界に発信。
- 子どもの考えをまとめた提言書を作成し、大人の代表に伝える。

「共創こども会議」 (令和6年6月～11月（月1開催）)

- 子どもによる選挙を実施し、子ども市長を選出
- 「こどものまち」の法律・ルール・税率・税金の使い方などを策定
- 川崎市の企業と子どもが新しい商品を開発
- 「こどものまち」で実現する、新たなビジネスプランを創出
- 持続可能なエコなまちづくりを行うためのGXプランを創出

<p style="text-align: center;">ターゲット</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども会議：市内小中学生600人 ● こどものまち：市内小中学生1600人 + 保護者800人 ● 世界子ども地域合衆国サミット：ドイツ・ウクライナ・全国のこどもの代表20人 	<p style="text-align: center;">実施場所</p> <p style="text-align: center;">田園調布学園大学</p>	<p style="text-align: center;">総事業費 ¥6,600,000</p> <p style="text-align: center;">うち負担金 ¥3,300,000</p>
--	---	--

R7以降の見込み

令和7年度以降もミニたまゆりの活動を継続する。令和6年度のノウハウを活かし川崎市全域を対象とし企業・団体の誘致を行い、将来的には、企業・団体からの出店料を原資とした「子どもファンド」の実現を目指す。

まんなかフェス2024



構成員

株式会社カリヨン・カンパニー／一般社団法人Miraiallかわさき／一般社団法人武蔵小杉エリアマネジメント

内容

これまでのまんなかフェスで実施してきた、市内の作家によるハンドメイドマルシェ、ワークショップや体験、地域の飲食出店、主に市内の企業出店、ステージ発表、親子コンサートのほか、新規に市民参加型の花と緑をコンセプトとした『音とアート』のパレードを実施（令和6年9月実施予定）

ターゲット ①親子三世代 ②乳幼児から小学生 ③中高生の子どもたち ④女性	実施場所 こすぎコアパーク 武蔵小杉周辺 ほか	総事業費 ¥10,000,000 うち負担金 ¥5,000,000
--	--------------------------------------	--

R7以降の見込み

- ・今後も100周年に限らず、毎年地域の環境や世の中の変化していく状況を把握し、趣向やカタチを変える可能性も予想しながらも、その年ごとにあったコンテンツを盛り込むかたちで継続する。
- ・その時々によりトレンドも変化し、街の状況も変わるため、その変化を課題としてとらえ、コンテンツへ活かしていく。

今後スケジュール



令和5年度

令和6年度

令和7年度

■ 協定締結

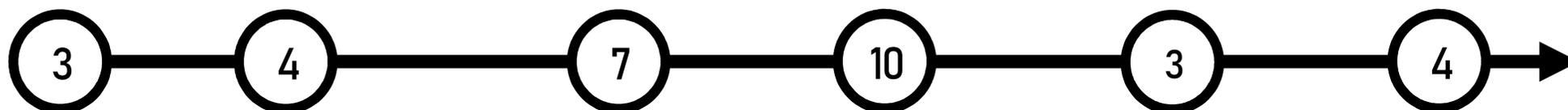
■ 総会発表 (03.24)

■ 公表 (100thWEBサイト)

■ 中間報告①

■ 中間報告②

■ 成果報告 (総会)



事業検討



※実施



検証
R7に向けた検討

※事業実施前には幹事会に実施内容を報告予定

企画内容がさらに100周年記念事業としてふさわしくなるように、採択事業の企画に関する助言を行いながら、実行委員会参画団体とのマッチング公式ウェブサイトでの広報など、企画の実現に向けた伴走支援を行います。